

添付資料：今夏の電力需給見通しに関する報告徴収に基づく報告概要

1. 原子力の再起動がないとした場合の需給バランス

■ 各H1需要(1日最大電力)における今夏の需給バランス(供給予備率)は、以下のとおり。

- ①2010年度実績 : (7月) 4.7% (8月) 4.4%
- ②定着節電を織り込み、2010年度猛暑並みの気温の場合 : (7月)10.9% (8月)10.5%
- ③定着節電を織り込み、平年並み気温の場合 : (7月)14.5% (8月)14.2%

【単位：万kW，%】

		7月			8月		
		①	②	③	①	②	③
H1需要		1,201	1,131	1,093	1,201	1,131	1,093
供給力	原子力	0			0		
	火力	1,066			1,067		
	水力	54			48		
	揚水	161	157	155	161	157	155
	地熱・太陽光	9			9		
	融通	▲29			▲29		
	新電力への供給等	▲3			▲3		
合計		1,258	1,254	1,252	1,254	1,250	1,248
供給予備力		57	123	159	53	119	155
供給予備率		4.7	10.9	14.5	4.4	10.5	14.2

(注) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

2. 需要見通し

■ 2013年度の需要見通しは、定着節電(▲43万kW程度)を織り込んで算定。

【今夏(2013年度)見通し(H1)】

※H1:1日最大電力 H3:最大3日平均電力

H1需要 (万kW)		備 考	
①	1,201	・2010年度実績	・2010年度H1需要
②	1,131	・節電織込み ・2010年度猛暑並み気温	・(【2013年度H3想定1,083万kW】+【2010年度猛暑影響38万kW】) ×【過去5年間のH1/H3比率(1.009)】
③	1,093	・節電織込み ・平年並み気温	・【2013年度H3想定1,083万kW】 ×【過去5年間のH1/H3比率(1.009)】

【今夏(2013年度)見通し
の要因(H3)】

2013年度対2010年度	万kW
2013年度想定	1,083
2010年度実績	1,191
差分	▲108
気温影響	▲38
節電影響	▲43
経済影響	▲24
離脱影響	▲3

【昨夏(2012年度)実績
の要因(H3)】

2012年度対2010年度	万kW
2012年度実績	1,075
2010年度実績	1,191
差分	▲116
気温影響	▲40
節電影響	▲52
経済影響	▲22
離脱影響	▲2

【気温感応度】

	万kW/°C
2013年度想定	29
2012年度実績	28
2011年度実績	31

【気温関連データ】

	°C
過去10年間の 最高気温の平均値	35.1
2010年度猛暑の 最高気温	35.9